

# 省エネ・節電実行計画 [H28年度 夏季] の結果報告

(実施期間: 6月1日から9月30日)

## ◇エネルギー消費原単位削減目標 【前年度比 夏季実績 1%以上削減】

平成27年度実績

平成28年度実績

- ① 東山地区 17.98 ㊦/㎡ ⇒ 18.57 ㊦/㎡ **3.3%増 目標未達成**
- ② 鶴舞地区 25.58 ㊦/㎡ ⇒ 26.54 ㊦/㎡ **3.8%増 目標未達成**
- ③ 大幸地区 7.64 ㊦/㎡ ⇒ 6.50 ㊦/㎡ **14.8%減 目標達成**

⇒各団地の夏季月別エネルギー消費原単位の推移は右図を参照

## ◇ピーク電力抑制目標 【契約電力 マイナス4%を超過しない】

契約電力

平成28年度実績

- ① 東山地区 17,300 kW ⇒ 17,388 kW **0.5%増 目標未達成**
- ② 鶴舞地区 8,475 kW ⇒ 8,366 kW **1.3%減 目標未達成**
- ③ 大幸地区 550 kW ⇒ 460 kW **16.4%減 目標達成**

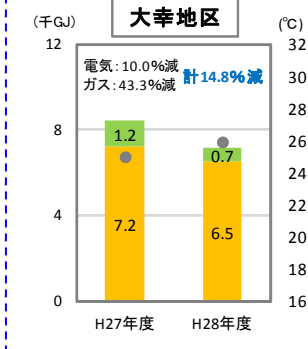
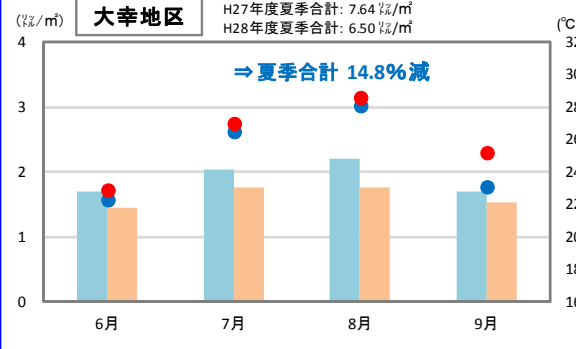
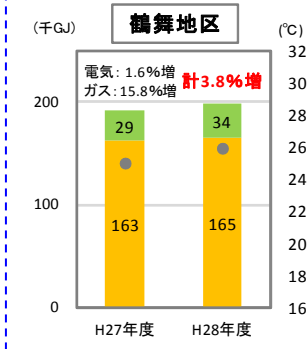
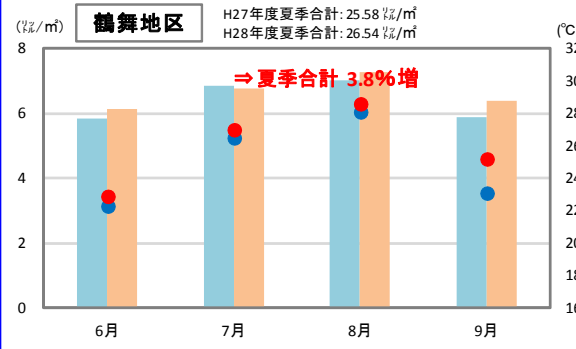
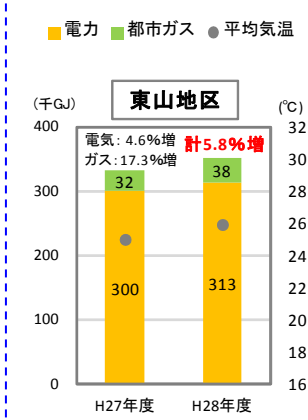
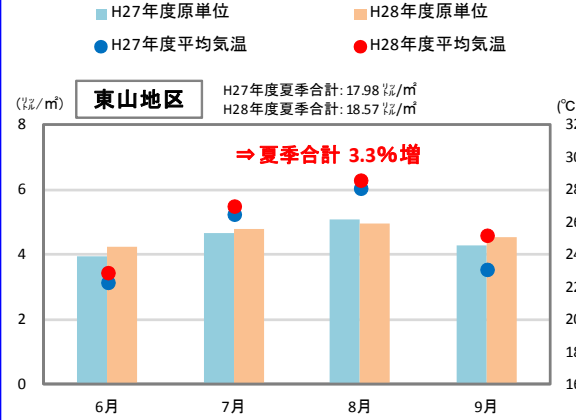
## ◇名古屋大学全体における夏季エネルギー消費について 【前年度比】

エネルギー消費量 531,844 GJ ⇒ 557,112 GJ **4.8%増**  
 エネルギー原単位 19.66 ㊦/㎡ ⇒ 20.25 ㊦/㎡ **3.0%増**

※ 東山、鶴舞及び大幸地区の合算値 (3地区合計で大学全体エネルギー消費の約99%)

## ◇夏季実績に関する考察

- ・今年度夏季は、平均気温が昨年度より全体的に高くエネルギー使用量も増加傾向にあるが、新営建物及び新設大型機器等を除くと昨年度とほぼ同等の使用量であり、日頃の省エネ活動の成果を確認できた。
- ・東山地区のピーク電力は、情報基盤センターのスパコン縮退運転などの協力を頂いたが、8/8のオープンキャンパス(以下0C)初日に契約電力を88kW超過した。この日の最高気温は今夏最大の37.8℃であった。
- ・大幸地区は原単位削減及びピーク電力抑制ともに目標を大きく上回った達成状況であり、昨年度実施した南館の空調・照明更新ならびに日頃の省エネ活動の成果を確認できた。
- ・ピーク電力抑制対策として、0C実施日の工夫などの検討を進めたい。

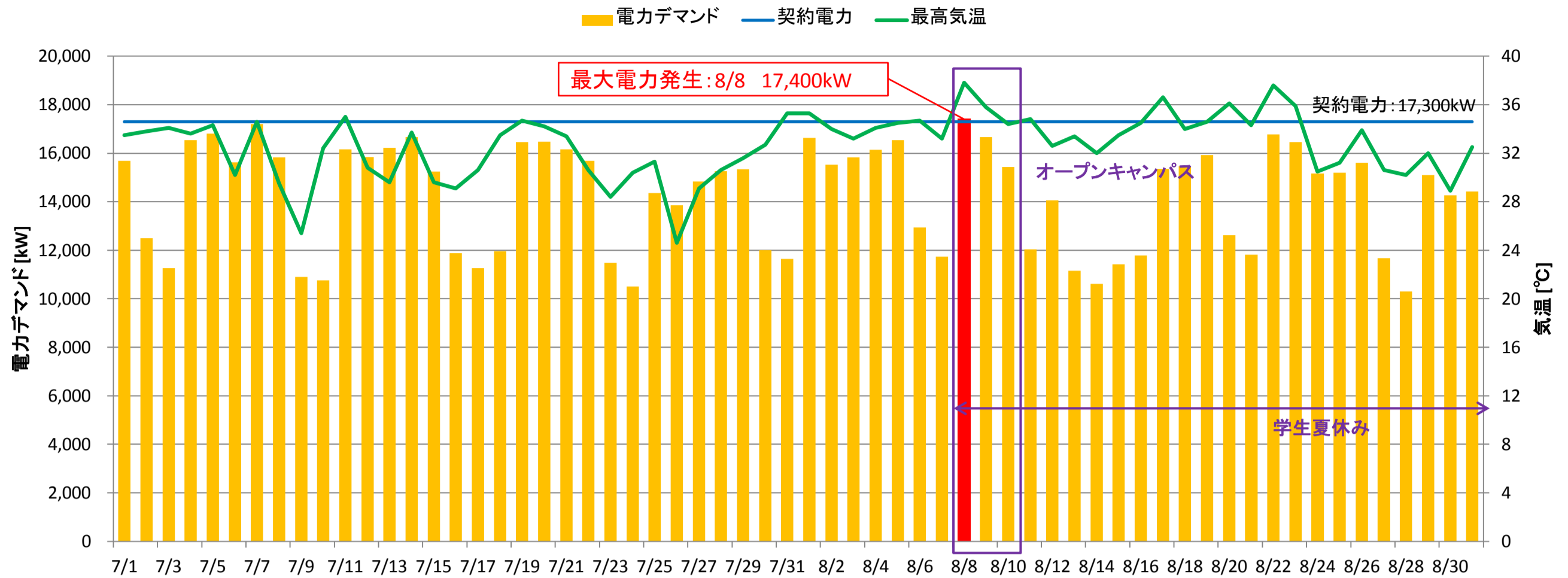


月別エネルギー消費原単位

一次エネルギー消費量

# 平成28年度夏季 東山地区「電力デマンド見える化」について

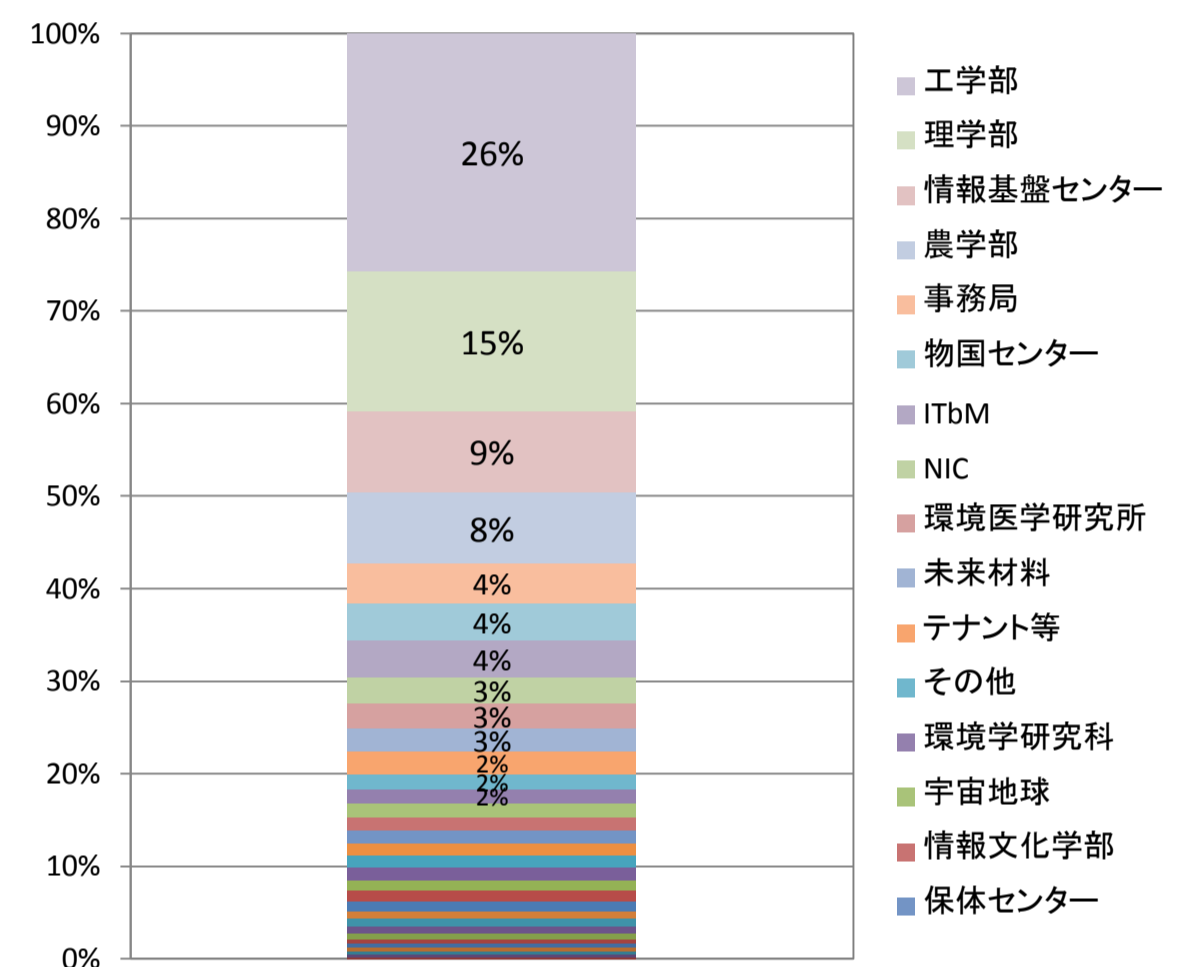
## 【東山地区 平成28年度夏季の電力デマンドと気温の推移】



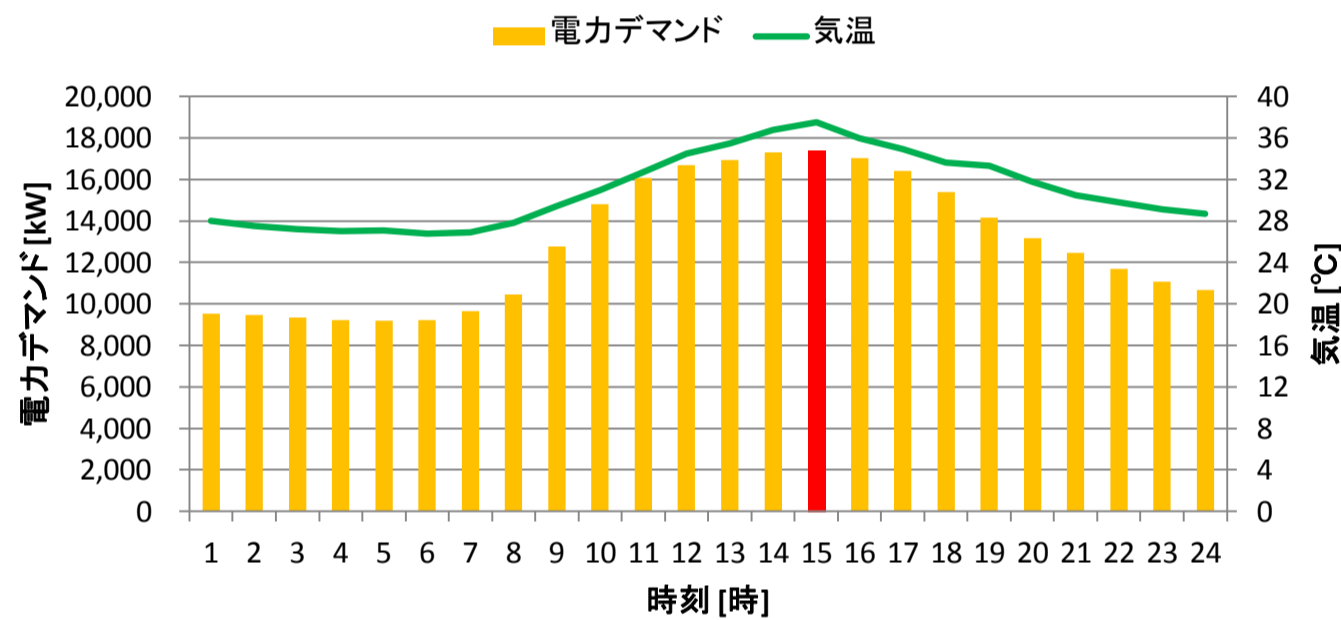
## 【今夏の最大電力情報】

最大電力発生時：平成28年8月8日（月）15時  
 最大電力：17,400kW  
 現在の契約電力：17,300kW  
 契約電力超過分：100kW

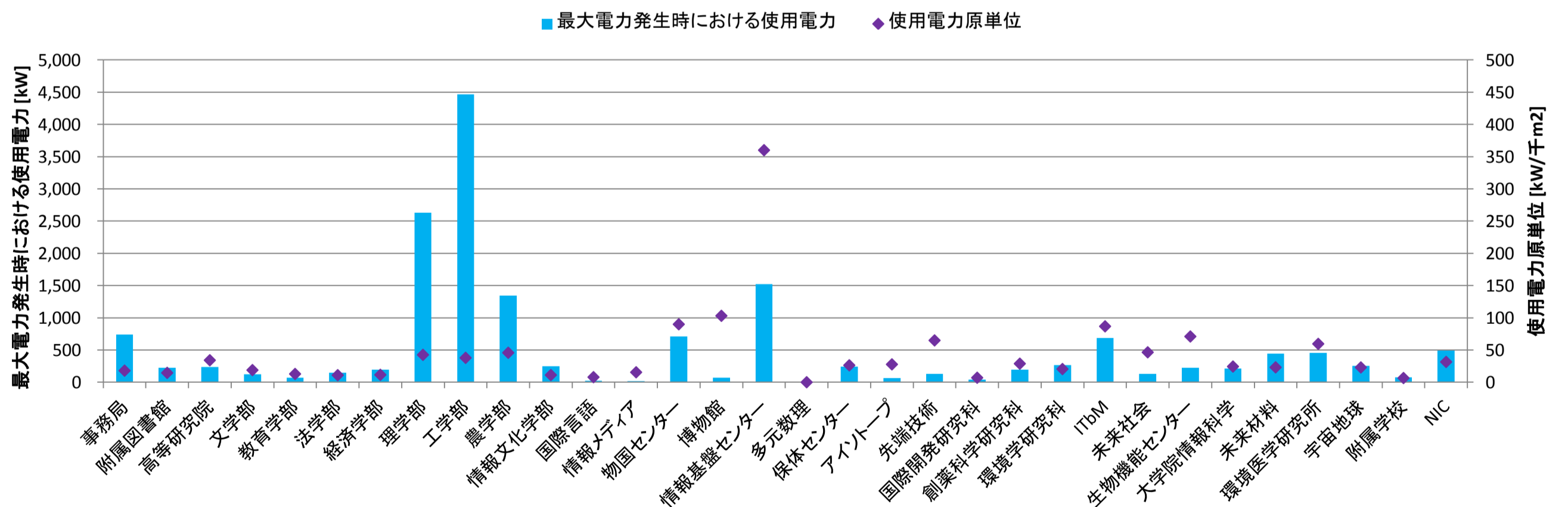
## 【最大電力に対する部局別使用割合】



## 【最大電力発生日の時刻推移】



## 【最大電力発生時における部局別使用電力】



※使用電力原単位：各部局の延床面積当たりの使用電力(最大電力発生時)

## 【今夏の最大電力について】

- ・今夏の最大電力抑制対策：情報基盤センターにて、7/13～8/12までスパコンの縮退運転を実施(通常に比べ約200kW削減)
- ・最大電力発生日：オープンキャンパス初日(8/8)。この日の外気温は約38℃(今夏の最高気温を記録)。ES総合館の使用電力が通常に比べて150～200kW増加し、他建物に比べて増加量が突出。
- ・最大電力発生時刻の部局別電力使用割合：工学部：26%が最も高く、次いで理学部：15%、情報基盤センター：9%、農学部：8%
- ・使用電力原単位：情報基盤センターが突出。理学部、工学部、農学部は同程度。
- ・今後の対策案：昨年度もオープンキャンパス初日(8/7)の工学部担当日に最大電力を記録。工学部のオープンキャンパスを最終日に設定するなど運用面での対応により、最大電力抑制の可能性はある。(初日は、2日目及び3日目担当部局の準備も重なるため)

## 【ピーク電力抑制のためのペナルティ・システム(試行)について】

- ・今夏の最大電力実績値は17,400kWとなり、契約電力17,300kWを100kW超過した。
- ・今年度より稼働を開始した新営建物の使用電力は、アジア法交流館：50kW、研究所共同館Ⅱ：173kWの計223kW(最大電力発生時)であり、契約電力超過分より大きい値となった。
- ・このため、契約電力の超過はあったが、「ピーク電力抑制のためのペナルティ・システム(試行)」は適用しないものとする。